令和7年度第2回千葉南警察署協議会

1 開催日

令和7年9月16日（火曜日）

2 開催場所

千葉県警察本部

3 出席者

・協議会委員7人 ・警察署6人

4 業務報告

なし

5 警察署からの諮問事項

【諮問】速度取締り指針について

【答申】なし

【諮問】駐車監視員活動ガイドラインについて

【答申】なし

6 委員からの要望・意見等

(1) 【質問】 近年、一人住まいの高齢者が増えている印象だが、警察署として、どのように高齢者の実態把握や犯罪被害に遭わないための対策を行っているか。

【回答】 行方不明事案、電話de詐欺被害、万引き事案等で高齢者に関する取扱い件数は増加傾向となっており、監護者のいない場合は、市町村に対して、情報提供を行っています。

留意事項として、人権に配慮する観点から、原則、本人又は家族等から情報提供等に関する同意を得ています。

【質問】 市の放送で高齢者が行方不明であると聞くことがあるが、それで発見されることはあるのか。

【回答】 放送を聞いた方から通報を受ける事案もあり、それで発見されることもあります。

(2) 【質問】 電動キックボードやモペットの千葉市内各警察署での現認件数の推移、

千葉南警察署管内での動向、もし、取締りをしていた場合は、どのような違反内容か。

【回答】 千葉市内、千葉南警察署管内での現認件数の統計はありません。

緑区での登録は、現在、約40台と聞いています。

取締りはありません。

【質問】 これらのモビリティを見かけた際の注意点について。

【回答】 交通法規を習熟しないまま乗車している方もいると予想されます。

事故を防ぐためには、相手と十分な距離、間隔をあける、相手の動静をよく見るといった防衛運転、自分の身を守る運転等を心がけていただきたいと思います。

【質問】 メーカーが、免許返納者の移動手段として推奨しているような話があったが、高齢者が乗りこなすには若者以上に危険ではないか。

【回答】 高齢者でも乗れる三輪タイプのもの等を作っているメーカーもあります。

【質問】 特定小型原動機付自転車が速度表示灯を緑色点滅の状態で車道を走った場合、どんな罰則になるのか。

【回答】 点滅モードで車道を走っても罰則はありません。

7 答申等に対する措置結果

なし

8 その他

(1) 協議会開催前に警察本部の施設見学を実施した。

(2) 交通総務課自転車対策係員による特定小型原動機付自転車及びペダル付き電動バイクの展示・法令説明を実施した。